



2025年3月期第2四半期（中間期）
決算補足説明資料

林兼産業株式会社

2024年11月13日

中間連結損益計算書の概要



(単位:百万円)

	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	
		実績	前年増減
売上高	23,749	24,677	928
営業利益	746	197	▲548
経常利益	852	367	▲485
親会社株主に帰属 する中間純利益	625	241	▲384

前年同期との主な変動要因

売上高	原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った飼料の価格改定、および養魚用飼料の海外向け販売数量増加により増収
営業利益	自社ブランド「霧島黒豚」の子会社農場における肥育成績の悪化等により減益
経常利益	営業利益の減少により減益

セグメント別の売上高・営業利益



(単位:百万円)

	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	
		実績	前年増減
売上高	23,749	24,677	928
食品事業	11,070	11,018	▲51
飼料事業	12,657	13,637	980
その他の事業	21	21	—
営業利益	746	197	▲548
食品事業	455	▲48	▲504
飼料事業	834	762	▲72
その他の事業	16	16	▲0
消去又は全社	▲560	▲532	28

中間連結貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	2024年3月期末	2025年3月期 第2四半期(中間期)末	
			増減
流動資産	15,666	16,792	1,126
固定資産	13,377	13,193	▲184
資産合計	29,043	29,986	942
流動負債	12,878	13,429	551
固定負債	5,072	5,479	407
負債合計	17,950	18,909	958
純資産合計	11,093	11,076	▲16
負債純資産合計	29,043	29,986	942

中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要

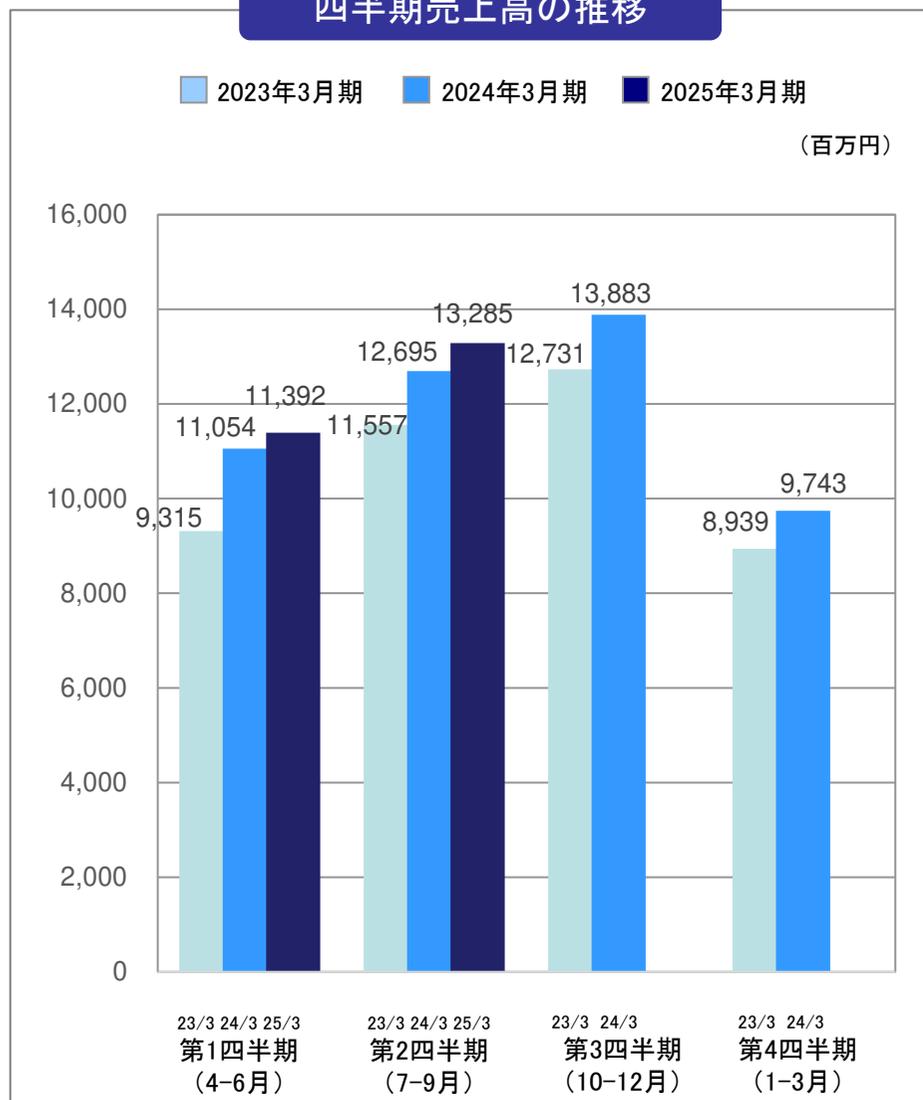


(単位:百万円)

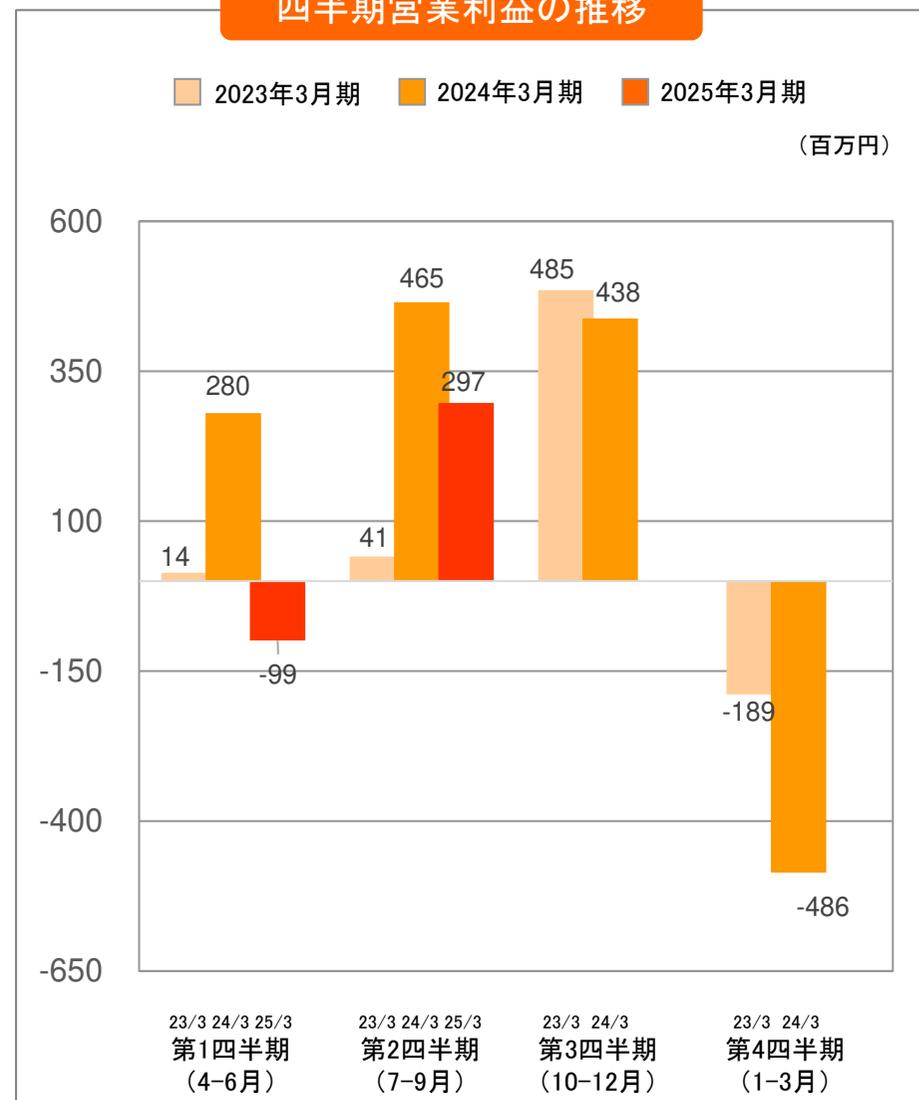
	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	880	▲2,696	▲3,577
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲279	▲24	255
フリー・キャッシュ・フロー	601	▲2,721	▲3,322
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲344	1,603	1,947
現金及び現金同等物の増減額	256	▲1,118	▲1,374
現金及び現金同等物の期首残高	562	2,501	1,939
現金及び現金同等物の中間期末残高	819	1,383	564

四半期連結業績の推移（売上高・営業利益）

四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移



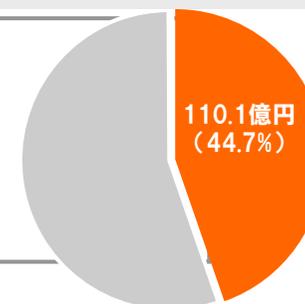
セグメントの状況（食品事業）

概況：価格改定の影響で販売数量が減少したことにより減収。
自社ブランド「霧島黒豚」の農場肥育成績の悪化等により減益。

食品事業

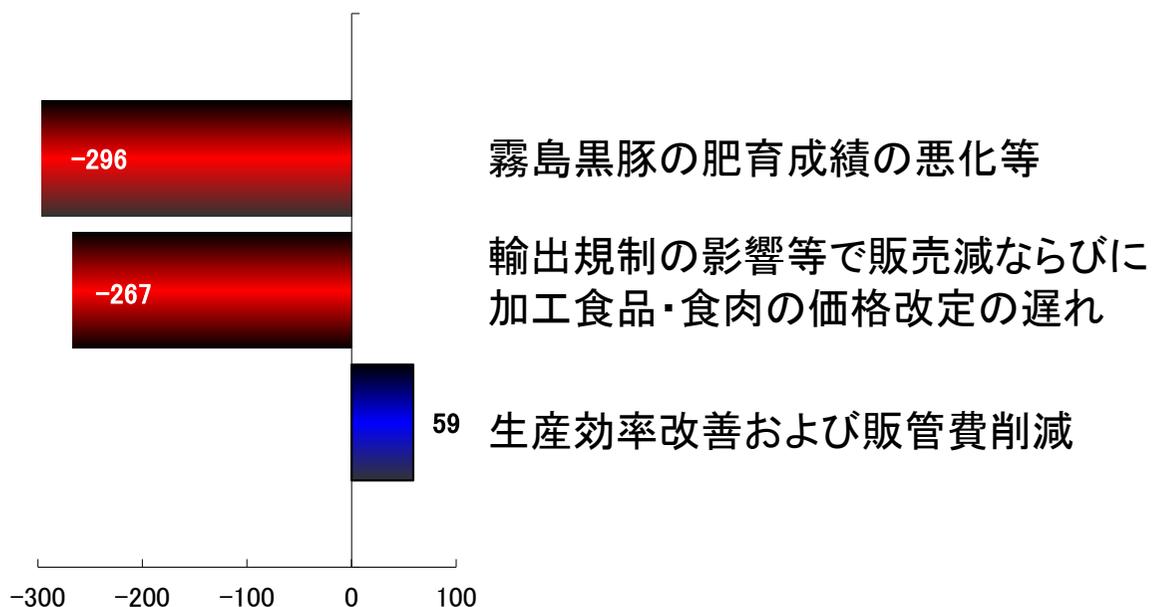
売上高 110億18百万円（前年同期比 0.5%減）

営業利益 ▲48百万円（前年同期 4億55百万円）



営業利益の増減要因

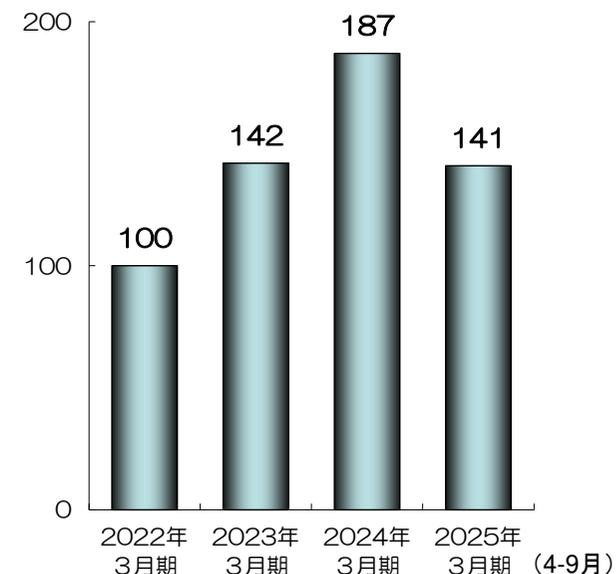
(単位: 百万円)



営業利益の減少 5億4百万円

機能性素材の販売数量推移

(2022年3月期を100とする)



セグメント施策の進捗状況（食品事業）

食品事業

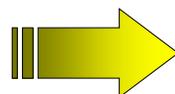
施策

状況

〈機能食品部門〉

機能性素材の海外強化

介護食 消費者向け



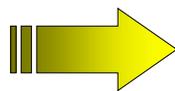
・北米展開に向けてFDA-GRAS認証、および東南アジア展開に向けてハラール認証申請中

・給食委託会社、配食サービスへ販売強化（前年同期比18.2%増）
完調品（調理済）の販売開始

〈加工食品・食肉部門〉

自社ブランド展開

販売チャネル多角化

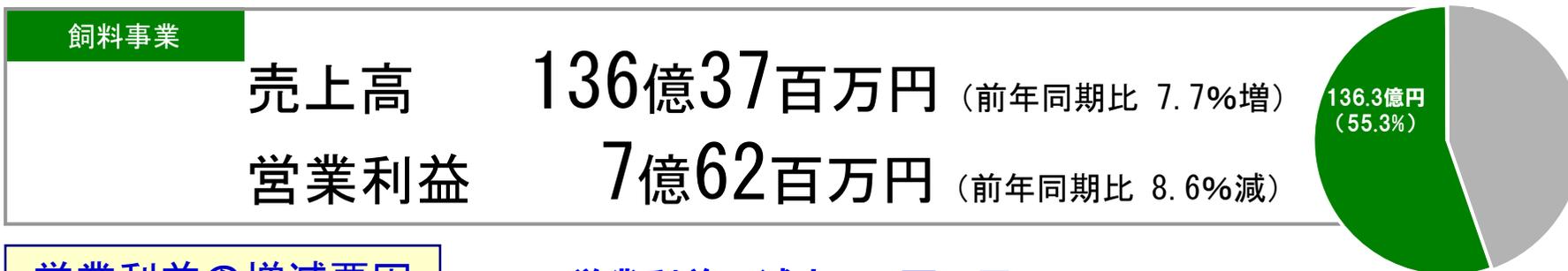


・Hayashikaneブランド創出に向けて、地域特性を活かした自社商品開発開始

・外食産業販売拡大に向けた取組強化
・首都圏有力量販店への取組強化
・①ギフト、②ふるさと納税市場への販売拡大
（前年同期比①28.4%増、②26.6%増）

セグメントの状況（飼料事業）

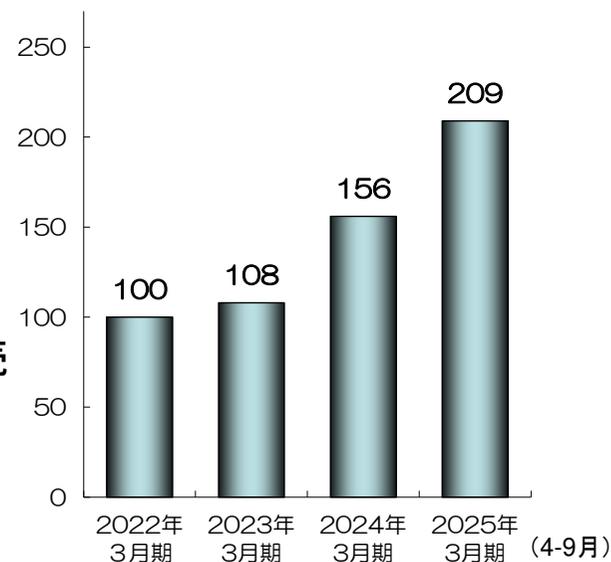
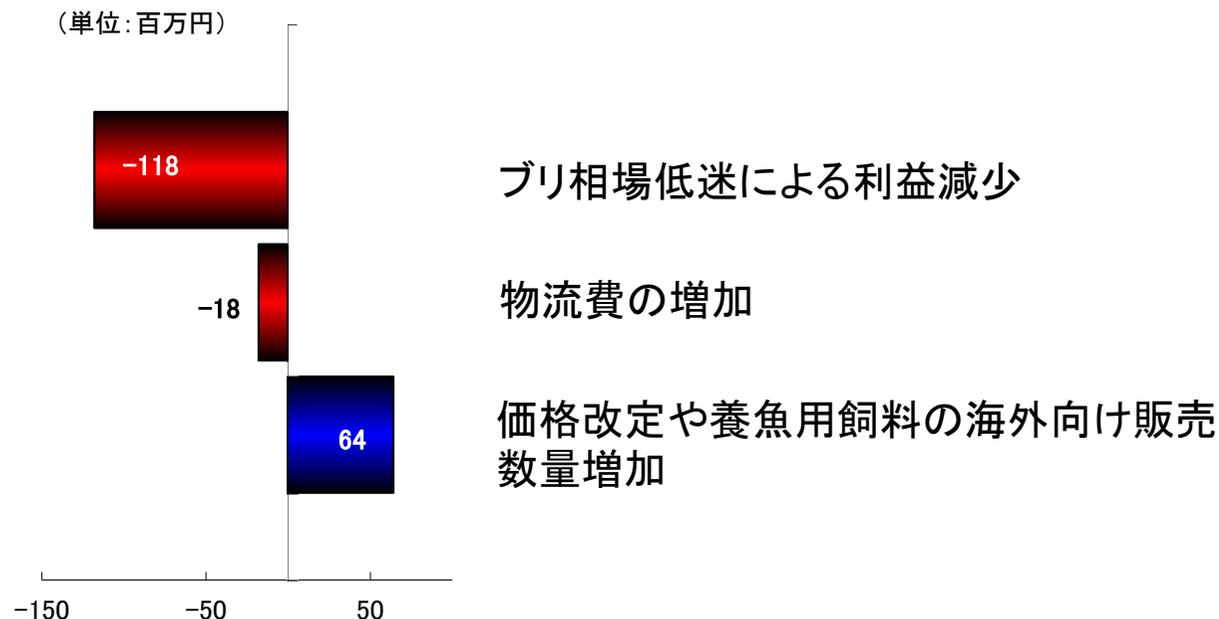
概況：原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応した価格改定や、養魚用飼料の海外向け販売数量増加などにより増収。水産物相場低迷による利益率低下により減益。



営業利益の増減要因

営業利益の減少 72百万円

養魚用飼料輸出数量推移
（2022年3月期を100とする）



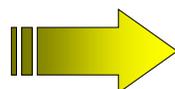
セグメント施策の進捗状況（飼料事業）

飼料事業

施策

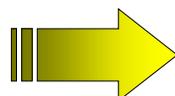
状況

大手養殖場へ直販拡大
(国内)



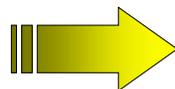
・魚病対策、低魚粉飼料など生産性向上の提案による拡販活動を行ったが、養殖尾数の減少および高水温・赤潮による餌止めにより販売数量減少(前年同期比7.2%減)

Hayashikane品質の
世界販売拡大(海外)



・パートナーシップ強化により養魚用飼料の海外向け販売数量増加(前年同期比33.5%増)

マーケティング機能強化



・難治性魚病であるトラフグのやせ病対策(特許取得)、真鯛のエドワジェラ症対策(特許申請中)の開発で魚病の感染拡大を防ぎ、ユーザーの生産性向上を目的に訪問診療を実施中

中間連結損益計算書



(単位:百万円)

	2024年3月期 第2四半期(中間期)		2025年3月期 第2四半期(中間期)		前年増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比
売上高	23,749	100.0%	24,677	100.0%	928	
売上原価	20,774	87.5%	22,213	90.0%	1,439	2.5%
販売費及び一般管理費	2,228	9.4%	2,266	9.2%	37	▲0.2%
営業利益	746	3.1%	197	0.8%	▲548	▲2.3%
受取配当金	73		70		▲2	
その他	123		158		35	
営業外収益合計	196		229		32	
支払利息	51		48		▲3	
その他	38		11		▲26	
営業外費用合計	89		59		▲30	
経常利益	852	3.6%	367	1.5%	▲485	▲2.1%
特別利益合計	1		137		136	
特別損失合計	3		1		▲2	
税金等調整前中間純利益	850		503		▲347	
法人税等合計	225		262		36	
親会社株主に帰属する中間純利益	625	2.6%	241	1.0%	▲384	▲1.7%

(単位:百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期			
		第2四半期(中間期)実績	前年増減	通期計画	前年増減
売上高	47,376	24,677	928	46,000	▲1,376
営業利益	698	197	▲548	700	1
経常利益	913	367	▲485	900	▲13
親会社株主に帰属する 当期純利益	749	241	▲384	650	▲99

2025年3月期 通期の見通し

国際情勢を背景とした原材料価格やエネルギーコストの高騰、為替相場リスクや海外景気の下振れなど、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くと考えられます。こうしたなか、当社グループの当中間連結会計期間の業績は子会社農場成績の悪化等により減益となったものの、今後も価格改定の進捗や農場成績の改善を見込んでいることから、2024年5月15日に発表した通期の業績予想に修正はありません。今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

配当の状況



	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00	百万円 129	% 17.5	% 1.2
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 —						
2025年3月期(予想)			円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00		% 19.6	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正はありません。

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先 林兼産業株式会社 総務部 TEL 083-266-0210
IRサイト <https://www.hayashikane.co.jp/ir/>